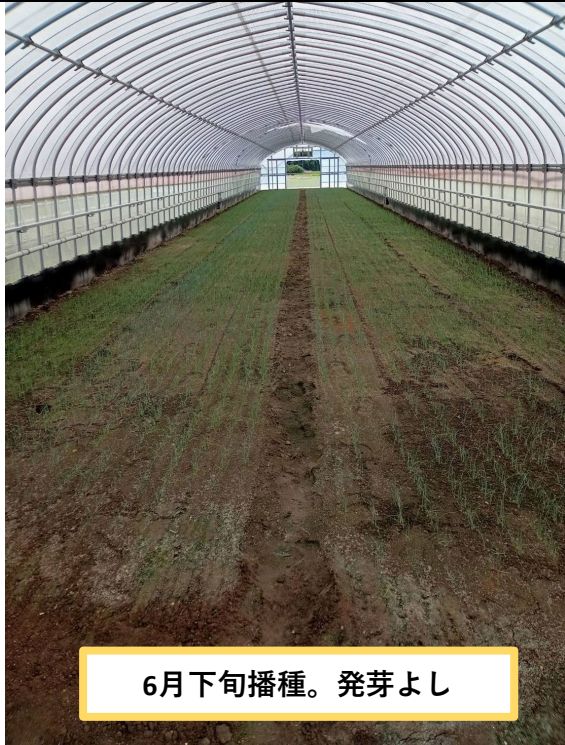




THE
ミズホ
ONLINE

手でサクサク収穫できる！ 周年小ネギ栽培のMリン土作り



6月下旬播種。発芽よし



7月中旬播種でも、発芽よし

佐賀県神埼市にて小ネギを周年栽培している緒方さんは、ミズホ式太陽熱消毒を愛用しています。

緒方さんがミズホ式太陽熱消毒を始める前までは、一般的な農薬を使って土壌消毒や雑草対策を行っていました。土壌消毒は良い菌も悪い菌も関係なく滅菌しますので、どんどん土が悪くなっていったそうです。生育後半になると水分をカットしますが、土の表面がガチガチに固まってネギが抜き取れなくなってしまったそうです。そのため収穫前にはフォークで掘り上げる作業が必要となり、その重労働に嫌気がさしたと言います。

そんな時、九州北部で活動する代理店の栄和産業(株)からミズホ式太陽熱消毒の話を知り、薬剤消毒とは違って微生物を増やし土を良くしていける処理方法であると知り、試すこととなりました。夏場は相場が高いですが、発芽率が悪く、生育ムラも起こりやすくて収益確保が難しい時期でもあるため、温度のかけられる夏場にミズホ式太陽熱消毒を実施。

まず慣例の塩類・肥料の洗い流しを行い、3日ほど開けてからミズホ式太陽熱消毒に取り組みました。3aあたりMイーシー半袋と米ぬか30kg、残渣処理のバクヤーゼK3袋、堆肥500kgを、次作の元肥(スーパーMリンPK8kg、MB動物有機ペレット5袋)と共に全面散布して土壌混和。頭上散水装置でたっぷりカン水して、満遍なく水分を行き渡らせます。その後は古ビニールで全面被覆し、約30日間の処理期間を取りました。処理期間を経たら被覆を剥ぎ、しばらく放熱させてから種まきに入ります。

このミズホ式太陽熱消毒を実施した評価は、
①発芽も生育も揃う、②収量が増えた、③収穫効率が上がった、です。特に収穫効率が上がったことに関して非常に喜ばれていて、これまでの収穫が嫌になってフォークを投げ捨てた話を笑い話として多くの生産者に話しているそうですよ。



株式会社 ミズホ

〒466-0807 名古屋市昭和区山花町64-1

TEL: 052-763-4171 FAX: 052-761-3771

Mail bio@mizuho.to



● 資材紹介 ●

ミズホ式
太陽熱消毒



お知らせ：Mリンのミズホでは皆さまの栽培投稿を募集しています。QRから投稿下さい。